

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月20日(月)

事務事業		道路台帳整備管理事業		担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	4130	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり		根拠法令 個別計画等	道路法				
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		道路整備や私道の寄附受入れ等による道路形態の変更等を、道路法により調製、保管が義務付けられている道路台帳へ反映させるための事業である。								
目的 ※何のために		道路台帳の適正な管理								
対象 ※誰・何を対象に		市道								
手段 ※どのように		道路台帳整備（面的）及び修正（線的）について、業務委託を行い、現地の測量や図面作成等を行う。また、作成された図面を活用しGISへ搭載する。								
成果 ※何を求めるか		深谷市全体で道路台帳の統一化を進め、修正により最新の情報を反映させることで、適正な道路管理ができる。また、GISへ搭載することにより窓口業務の簡素化を行うことができる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	1	土木管理費	1	土木総務費	道路台帳整備管理事業	24,552,000
本事業の 主な業務		・道路台帳整備委託業務							・	
		・道路台帳修正委託業務							・	
		・道路台帳の管理							・	
		・道路幅員証明書発行業務							・	
		・市道の認定・廃止							・	
		・道路台帳平面図更新データGIS搭載業務							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		橋梁台帳修正					
事業費	予算（現額）	19,097,000	23,346,000	23,346,000	25,256,000	24,703,000	34,813,000
	決算額	19,018,800	22,945,140	23,194,820	25,251,600	24,552,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	19,018,800	22,945,140	23,194,820	25,251,600	24,552,000	34,813,000
人件費	従事職員数（人）	1.35	1.67	1.45	1.40	1.37	1.42
	人件費相当試算※	10,501,650	12,995,940	11,398,450	11,407,200	10,633,824	11,546,514
総事業費試算		29,520,450	35,941,080	34,593,270	36,658,800	35,185,824	46,359,514

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	図面作成数	目標値	枚						
		実績値		100	131	111	137	108	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		他部署の道路改良工事等の成果によるため、目標値の設定なし。 / 道路台帳						
	実績値の算出式								
成果指標 1	修正の実績率	目標値	%	100	100	100	100	100	100
		実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		他部署から修正依頼を受けた路線は、全て修正を行うため、100%とする。 / 道路台帳						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

(1) 事業達成度評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	道路台帳修正、整備に要した図面枚数合計108枚の修正、整備を行った。 また、GISへ搭載できる地区については、搭載を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	当初予定していた台帳修正、整備を行い、道路台帳に反映することができた。 また、GISへ搭載できる地区については、全て行うことができた。
			評価者 調査係長 小林正行

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	道路拡幅された道路や寄付された道路などの情報を反映、修正し、現地と整合を図ることで道路管理をするために効果的である。また、GIS搭載することで窓口業務で効率的に活用することができた。
			評価者 調査係長 小林正行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路台帳整備管理事業	担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	4130
<div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>道路改良工事等を実施した路線は、最新の情報を道路台帳に反映、GISへ搭載することができたが、一部、GISへ搭載されず、紙図面の窓口対応を行っている地区がある。 このため、さらなる窓口業務での事務効率向上のため、事業費の拡充し、整備を図る。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路管理課長 宮下昌規				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	道路台帳修正等業務は、継続して実施する。また、紙図面の窓口対応の改善を図るため、この場所の事業量を把握する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	道路台帳修正等業務は、継続して実施する。また、市内全域をGISへの搭載を進め窓口対応の改善、事務効率化を図る。

8. 評価指標グラフ

